ISSN 1341-4046

# 埋文やまがた

2005年２月28日
第31号

山形市　梅野木前１遺跡　古墳時代の水田跡

財団法人　山形県埋蔵文化財センター
YAMAGATA PREFECTURAL CENTER FOR ARCHAEOLOGICAL RESEARCH
〒999-3161　山形県上山市弁天二丁目15番1号　TEL 023-672-5301㈹　FAX 023-672-5586
ホームページ：http://www.yamagatamaibun.or.jp
メールアドレス：kenkyuuka@yamagatamaibun.or.jp

# 2004年度 文化財普及事業の報告

発掘調査事業とともに私たちが力を注いでいる仕事に、文化財保護思想の普及があります。普及活動を通して多くの方々に接することで、文化財に対する理解を深めていただければと思います。今号では、今年度行ってきた普及活動についてまとめました。

## 調査説明会

発掘調査期間中に説明会を開催して、その成果を広く公開しています。現地では、当時の生活の跡や出土した遺物を目の当たりにできます。

ここでは、今年度開催した調査説明会をふり返って、その一部をご紹介しましょう。

平成16年度発掘調査遺跡一覧

| No. | 遺　跡　名 | 市町村 | 時代区分 |
|---|---|---|---|
| 1 | 鵜の木館跡 | 南陽市 | 古墳～中世 |
| 2 | 百刈田遺跡（第２次） | 南陽市 | 縄文～奈良 |
| 3 | 六角壇遺跡 | 南陽市 | 縄文・古墳・平安 |
| 4 | 西中上遺跡 | 南陽市 | 奈良・平安 |
| 5 | 下中田遺跡 | 金山町 | 縄文 |
| 6 | 地坂台遺跡 | 金山町 | 縄文 |
| 7 | 太郎水野１遺跡 | 金山町 | 縄文 |
| 8 | 太郎水野２遺跡 | 金山町 | 旧石器・縄文 |
| 9 | 小反遺跡 | 鮭川村 | 縄文 |
| 10 | 上野遺跡 | 鮭川村 | 縄文・中世 |
| 11 | 向河原遺跡（第６次） | 山形市 | 弥生～中世 |
| 12 | 梅野木前１遺跡（第２次） | 山形市 | 古墳～平安 |
| 13 | 山形城三の丸跡（第３次） | 山形市 | 平安・中近世 |
| 14 | 高瀬山遺跡HO（２期） | 寒河江市 | 旧石器～平安 |
| 15 | 大在家遺跡 | 高畠町 | 飛鳥～平安・近世 |
| 16 | 山形西高敷地内遺跡（第７次） | 山形市 | 縄文～平安 |
| 17 | 亀ヶ崎城跡 | 酒田市 | 中世・近世 |
| 18 | 梓山ａ遺跡 | 米沢市 | 縄文 |
| 19 | 梓山ｄ遺跡 | 米沢市 | 縄文 |
| 20 | 町在家館跡 | 米沢市 | 縄文 |
| 21 | 日本海東北自動車道関連遺跡 | 鶴岡市 | 縄文～近世 |

梓山ａ遺跡・梓山ｄ遺跡・町在家館跡
10月６日

約１万６千年前の石器が見つかった場所に釘付けです。

太郎水野２遺跡　９月25日

鵜の木館跡　10月23日

大在家遺跡　9月12日
商店や民家の目の前が調査区です。昔も今と変わらぬ町の中心街でした。

天気は良かったのですが、強く冷たい風が吹いていました。そんな中でも熱心に耳を傾けていただきました。

時には映像を使った説明も行います。

百刈田遺跡　11月12日
約3,500年前に、この炉跡を囲んでいた人々がいたことを考えると感動的です。

梅野木前１遺跡　11月７日

まだ３時前ですが、だいぶ影が長くなってきています。調査も終盤を迎える季節です。

# 発掘調査報告会

12月19日に山形ビッグウイングを会場として、本年度の発掘調査報告会を行いました。

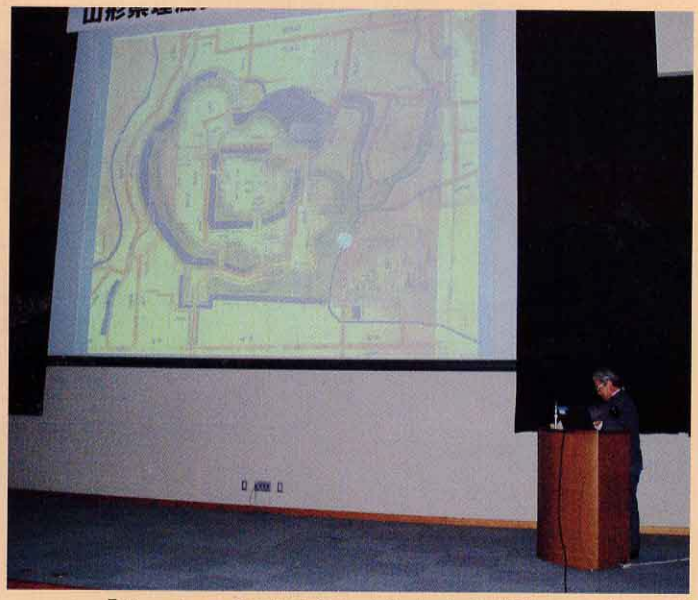
報告会と並行して調査遺跡の出土遺物とパネル展示、および「黄金瓦の山形城」と題した企画展を催しました。また今年度は、出前授業などで行っている縄文時代の「勾玉づくり」と「アンギン編み」の体験コーナーを併せて開催しました。

当日は例年より約100名多い、420名の来場者がありました。

「ご来場ありがとうございま～す。」

「それでは次の報告を…」

「あの～、質問なんですけど…」



「え～と、今回調査しました上山城跡はですね～」

## 遺物展示コーナー

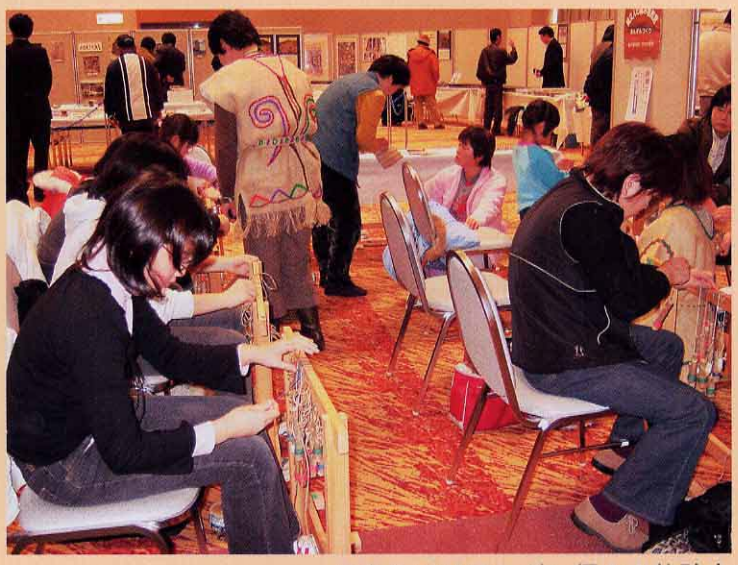
## 縄文体験コーナー

スタッフは縄文人に変身！

削りながら形にする勾玉づくり。「こんなんでいいかな？」

「２階で縄文体験やってま～す。」

「上手にできたよ。」はいポーズ！



こちらではアンギン編みの体験中

# 出前授業ア・ラ・カ・ル・ト

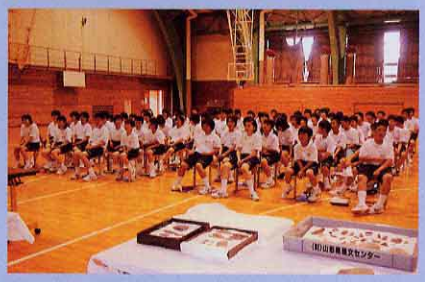
今年度は小学校16校、中学校２校、高校１校の合わせて19校におじゃましました。

■小学校（実施順）
山形市立桜田小学校
大石田町立亀井田小学校
河北町立谷地中部小学校
東根市立東根小学校
山形市立大郷小学校
河北町立谷地西部小学校
寒河江市立寒河江小学校
寒河江市立幸生小学校
東根市立高崎小学校
米沢市立南原小学校
上山市立本庄小学校
天童市立津山小学校
山形市立第八小学校
中山町立豊田小学校
尾花沢市立玉野小学校※
天童市立長岡小学校※

■中学校（実施順）
金山町立金山中学校
山形市立金井中学校※

■高校
山形県立霞城学園高等学校※

※印校は２学期以降実施



# 調査体験

発掘調査現場やセンター内での整理作業を「調査体験」する活動も支援しています。

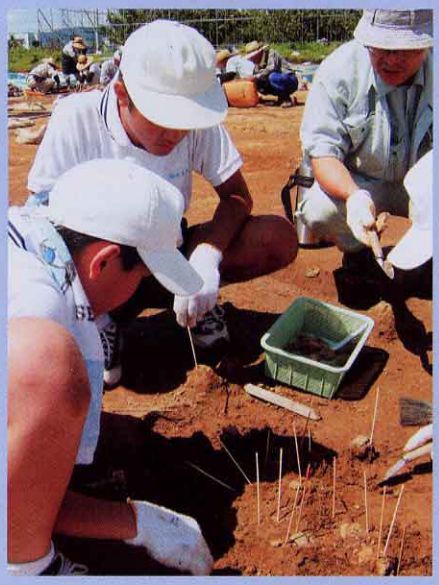
中学校の職業体験学習として山形市立蔵王一中の生徒が猛暑の中挑戦しました。

●挑戦してくれた他の学校●

上山市立南小学校

上山市立宮川中学校

「ホントにぼくたち掘るの？」



ん百年前の土器発見！

がんばってケロ

センターで出前授業の道具修理

秋の体験学習発表会

ドキドキしながら土器洗い見学

# 秘宝館

# 注口土器

## 真室川町・釜淵（かまぶち）C遺跡

急須に似た、細い管状の注ぎ口を持つ土器を、注口土器と呼んでいます。縄文時代中期の後半から見られるようになりますが、器種として定着したのは今から約3,000年前の縄文時代晩期に入ってからと考えられています。

器としての縄文土器は深鉢形のものから出発して、後期・晩期にはいるとその用途がさまざまに分化し、皿や壺をはじめ、注口土器、香炉形土器など、いろいろな形の土器が作られるようになります。土器の用途や形が多様になると共に、土器作りの技術的な進展も見られ、土器を薄く作ることができるようになりました。また、中期の豪華で立体的なデザインに代わって、繊細な沈線文様が重んじられるようになりました。

写真の注口土器は晩期でも終わり頃（約2,400年前）の作品で、ほぼ完全な形で出土した優品です。「工字文」と呼ばれる沈線文様が施され、器面はヘラで丁寧に磨き上げられています。外面は朱塗りされたらしく、部分的ですが顔料が残っています。

注口土器は液体状の物質を注ぐ目的に使用されますが、その精巧な作りからは、祭祀用など非日常的な土器と考えられています。

### 「埋文やまがた」の購読について

広報誌「埋文やまがた」購読ご希望の方は，当センターまで電話にてお問い合わせ下さい。なお，郵送料はご負担いただきます。

電話 **023(672)5301**（代表）

### 編集後記

初冬の暖かさが災いしてか、今春はスギ花粉が大量に飛散しそうとの予報。雪解けは待ち遠しいところですが、花粉症の方にはつらい季節の到来です。

年度明けの４月下旬から17年度の発掘調査が始まりますが、防寒着とともにマスクは必需品となりそうです。